

# 2014 年度 英米文学英語学会会計報告

(平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	2,333,966 円	「英米文学英語學論集」3号印刷代	414,750 円
新2年生会費(26名分)	216,000 円	会議費	32,815 円
特別会費	45,000 円	消耗器具備品費	12,137 円
利息	305 円	雑費(振込料・文具)	13,810 円
		次期繰越金	2,121,759 円
<hr/>		<hr/>	
合 計	2,595,271 円		2,595,271 円

2014 年度英米文学英語学会会計報告について監査を行った結果、適正なものであることが認められますのでその旨証明いたします。

## 執筆者紹介

鍋 島 弘治朗 (本学教授) 中 野 阿佐子 (本学大学院 博士後期課程)

## 査読編集委員会

Fred E. Anderson (本学教授) 岩 田 彩 志 (本学教授) 高 橋 美 帆 (本学教授)  
\* 谷 口 義 朗 (本学教授) 野 口 メアリー (本学教授) 干 井 洋 一 (本学教授)

\* 編集代表

# 学会開催報告

関西大学英米文学英語学会・関西大学英语学会・関西大学大学院英語英米文学研究会 共催研究大会が2015年10月17日(土)13時より関西大学第1学舎1号館 A601・602にて次のように行われました。詳細は以下のとおりです。

## [卒論構想発表会]

A601

磯崎 りさ (野口ゼミ)「日本人のタイ英語に対する intelligibility」 司会 野口メアリー  
金山 遥香 (野口ゼミ)「日米広告比較」 司会 野口メアリー

A602

川口 沙織 (Anderson ゼミ)「Intelligibility of Japanese English」 司会 Fred E. Anderson  
貴志 円香 (Anderson ゼミ)「英語科における協同学習」 司会 Fred E. Anderson  
森安秀太郎 (高橋ゼミ)「英国ソネット比較論」 司会 高橋美帆

## [研究発表]

A601 英語学

中野 里香 (M1)「Nursery Rhyme を利用した英語発音教材について」  
司会 高橋美帆

眞鍋均之介 (M2)「日本語における植物メタファーの慣用性 — 『散る』、『枯れる』を例に」  
司会 鍋島弘治朗

吉村 耕治 (関西外国語大学短期大学部名誉教授)  
「宮澤賢治の英語訳に見られる感性の表現 — 日英語の言語文化論の視点から」  
司会 谷口義朗

A602 英米文学

上村 周平 (D3)「ファンタジーとその領域についての考察」  
司会 千井洋一

指出 尚枝 (M1)「スペンサーの詩作における『呼びかけ』の構造 — 寓話詩と恋愛詩」  
司会 高橋美帆

浦 千里 (D5)「Shakespeare の世界把握」  
司会 高橋美帆

[講演]「アメリカ演劇の政治学——支配、歴史、他者」 講師 貴志 雅之<sup>1</sup>

---

<sup>1</sup> 大阪大学大学院言語文化研究科教授 昭和62年関西大学大学院博士課程後期課程単位取得満期退学

---

## 【編集後記】

今年度のスケジュールも、卒論の口頭試問が終わってほぼ完了する。皆様、本年もお疲れ様でした。鍋島教授も昨秋に復帰され、さっそく本論集に論文を寄稿された。ますますのご活躍をお祈りします。

## 『英米文学英語学論集』投稿規定

### 1 投稿資格

本会の会員であること。その他、評議員会で適当と認められた者。

### 2 投稿論文及び翻訳

投稿論文は、未発表の学術論文であること。口頭発表を基にした論文は、その旨を明記すること。論文の長さは、和文の場合四〇〇字詰め原稿用紙三五枚程度、英文の場合七〇〇語程度。なお、投稿原稿は返却しない。  
翻訳は本邦初訳であり、かつ著作権上の問題が発生せず、研究上の意義が認められるものに限る。

### 3 投稿の採否

投稿原稿の採否は、査読編集委員会あるいは同委員会が委嘱する査読者の評価に基づいて、査読編集委員会が決定する。

### 4 書式上の注意

- i 注は本文の末尾にまとめる。
- ii 注のナンバーは肩付き、数字はアラビア数字（かっこなどで枠付けしない）を用いる。
- iii その他、書式の細部については次のいずれかの規定に従うこと。
  - ① *MLA Handbook for Writers of Research Papers* (Fifth Edition)
  - ② 『MLA 英語論文の手引』(第5版) (北星堂)
  - ③ 日本英語学会機関誌 *English Linguistics* 投稿規定
  - ④ *The Chicago Manual of style* (Fifteenth Edition)
  - ⑤ *A Manual for Writers of Term Papers, Theses, and Dissertations*
  - ⑥ *APA (American Psychological Association) Style*
- iv 日本語による論文には英文タイトルを付すこと。

### 5 原稿締め切り

原稿の締め切りを原則として毎年12月末とし、翌年3月までに刊行するものとする。

### 6 電子化による公開

投稿した論文等が本論集に掲載された場合、投稿者はその論文等が関西大学学術レポジトリに登録されることを許諾したものとす。ただし投稿者本人の事前の申し出により登録を辞退することができる。

## 関西大学英米文学英語学会会則

第一条 本会は関西大学英米文学英語学会と称しその事務局を関西大学文学部総合

人文科英米文学英語学専修合同研究室に置く。

第二条 本会は英語学・英米文学の研究の促進と研究成果発表を目的とする。

第三条 本会は第二条の目的を達成するために次の事業を行なう。

一、機関誌『英米文学英語学論集』の刊行。

二、その他、大会、総会、談話会、講演会など、本会が必要と認めたこと。

第四条 本会は次の者をもつて会員とする。

一、本学文学部総合人文科学科英米文学英語学専修の専任教員。

二、本学文学部総合人文科学科英米文学英語学専修及び同大学院文学研究科

英文学専修の学生。

三、右の卒業生及び修了生であつて本会に入会を認められた者。

四、本学文学部英文学科(旧)の在職経験者中の入会希望者。

五、本学の名誉教授その他評議員が推薦した者で入会を希望する者。

第五条 本会に次の役員をおく。

一、会長 会長(一名)は評議員の互選によりこれを選出する。

二、副会長 副会長(一名)は会長が指名するものとする。

三、評議員 第四条第一項の会員が評議員の責務を負うものとする。

四、委員 委員若干名は評議委員会で決定する。委員は編集・会計・

会計監査及び広報を分担する。

第六条 役員の任期は二年とし、再任を妨げない。

第七条 会員は会費年額三千円を納入する。但し、第四条第一項に該当する者は年

会費五千円を納入する。

第八条 会員は機関誌の配布を受けるとともに、これに執筆寄稿することができる。

第九条 この会則の変更は評議員の議決による。

(会則改正 二〇一四年二月十四日)

英米文学英語学論集 第5号

2016年3月18日発行

編集兼  
発行人 関西大学英米文学英語学会

印刷所 石田大成社  
〒604-0087 京都市中京区丸太町通小川西入

発行所 関西大学英米文学英語学会  
〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

〔非売品〕